

社内報 10 月号

株式会社NITTOH

CS研修会

9月13日に東京の浅草橋にあるヒューリックビルの会議室で、NITTOH・ビルワーク合同のCS研修を行いました。三越やフロリダのディズニールランドで経験のある上田比呂志先生に御講演いただき、総勢66名が聴講しました。CSに対する基本的な考え方から組織の中でのマネジメント、人材育成など人に焦点をあてたお話で現場のチームでリーダーシップを発揮する立場の人に対し、今までの経験の中から素晴らしいお話を聞かせていただいたのではないかと思います。また、翌日の9月14日は、京都で大阪事業部のCS研修が行われました。リフォーム営業などで実績をあげてこられた前川あゆ先生に、「売り込まないで、お客様満足をとことん引き出す営業。ストレスフリーな共感営業」について講義していただきました。どうしても数字を意識して余裕の無くなっていた営業マンには、多くの気づきがあったのではないのでしょうか。研修終了後に場所を移動して、社員による自主的な懇親会が行われました。大阪事業部の全社員が関西の地で集まったのは、大阪事業部ができて初めてのことなので大変盛り上がりしました。



東京事業部・BW CS研修会



大阪事業部 懇親会

産業廃棄物の分別と削減について

環境への対応は、企業にとって重要な課題です。法律を遵守することは当たり前のことであり、いかに環境に与える負荷を減少させていくかが課題です。少なくとも環境に与える悪影響を軽減することにどれだけ取り組んでいるかが社会から問われています。上場企業の多くがCSRレポートを作成し、公表しています。CSRは、企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)ということで、雇用、消費者への対応、環境問題、地域社会への貢献など多くの内容を含むものですが、レポートで報告されている環境に対する対応に関しては、多くの企業がCO₂の排出量や産業廃棄物の排出量やリサイクル率の数字を指標として掲載しています。当社においても事業活動やオフィスにおいて、意識をもって取り組んでいるのですが、今まで数字的管理はされていませんで

た。CSRレポートでは、どの企業においても前年より何パーセント削減といった目標をたてて取り組んでおり、大手住宅メーカー様のリサイクル率は、どこも90%を越えているのが現状です。当社においても多くの営業所で分別して処理を行っていますが、場所の狭い営業所においては、混合廃材として処理しています。混合廃材は中間処理施設に運ばれ、そこで再処理され、リサイクルされるものもありますが、多くが最終処分場で埋め立てされるか、焼却処分されます。当社においても産廃の量を削減するとともに、分別をできるだけ行い、混合廃棄物の量を削減することに今まで以上に取り組み、また、数値的に廃棄量、リサイクル率を把握し、計画的に環境への負荷を削減し処分にかかるコストの削減にも取り組んでいきたいと思っています。

富山YKK現場の追加工事

昨年度実施した、YKK工場の屋上防水ですが、非歩行ですべて設計されていましたが、一部メンテナンス等で頻繁に歩行する箇所があり、断熱材がへこみ、水のたまる箇所ができており、追加工事として補修工事を実施しました。写真は、完成した工場の屋上の様子です。とにかく広いです。



YKK工場屋上の様子



YKK工場完成全景

セブン現場見学会

セブンハウスで建築した注文住宅の完成現場見学会が行われました。マリンスポーツ好きなお客様宅でカリフォルニアテイストのとてもおしゃれな家が出来上がりました。



ガラスクリーニングコンテスト 全国大会

2年に一度開催されるガラスクリーニングコンテスト全国大会が、10月22日(土)に池袋サンシャイン噴水広場において、11時から18時まで開催されます。東京予選と愛知予選を勝ち上がったビルワークメンバーも大勢出場しますので、応援よろしくお願いいたします。当日の様子はインターネットでも生中継されるそうです。詳しくは、大会のHPで確認を。

日本の諸問題と当社にできること

国会中継を見ていると、与党、野党ともそれぞれ日本の諸問題を論じているわけですが、解決に向かわないと意味がなく、問題点を立派に根拠だてて説明したり、対応が悪いと批判だけしていても、どうするか、何ができるかについて論議をしないと時間の無駄に思えてしまいます。企業においても同じようなことが言えます。立派にできない理由を説明しても何の意味もありません。このままではいけないのなら、変わらないといけなわけですから、少しずつでも変えていかないといけません。残念ながら画期的、劇的な方策などはそうはありません。世の中は、多くの人々が動いており、大変複雑であり、そう単純なものではありません。自分たちの置かれた立場で、コツコツと頑張るしかありません。日本は、少子高齢化で、年金問題、医療費の高騰、生活保護費の高騰が大きく、税金不足で財政が悪化しています。温暖化が進行し、原発は停止中のものが多く、化石燃料に頼り、CO₂の排出も増えています。そうした中で、現実離れた夢のようなことを言っても仕方なく、当社として社会に貢献できる最も確かな方策は地道にしっかりと利益を上げて税金を納めていくことで、それがまず大切な務めであると思います。そうした中で、社員は健康に努めて、65歳と言わず、今後は70歳や75歳まで元気に働き、税金を納める側の人間で少しでも長くあり続けることです。会社が利益をあげられるように全員で頑張ることで、社員の給料を少しでも高く保てるようにし、社員も消費をするわけですから消費税を納め、所得税を納めていけるわけで、また、生活もエンジョイすることができるわけです。当然、健康であれば医療費の面でも、健康保険の収支にも貢献できます。協力業者さんへの発注においても、当社がしっかりと利益をあげて、協力業者さんも利益を上げられるように考えることです。そのためには、効率よく技術力のある仕事をしてもらわないと困るわけで、そうした人に育てていかないといけません。営業の面でも同じで、しっかりと受注を増加していけるようにならないと、会社として良い状態は維持できないわけですから、一人一人が力をつけて組織として機能していけないと達成できません。定職についていない人や転職を繰り返す人は、失業保険をもらったり、生活保護を受けたり、また、税金については納めていないこともあるわけですから、いろいろな事情の人がいる

ので社会のセーフティネットも大切なことですが、まず問題点を自分に向けて考え、自分が会社や世の中に貢献できるようになり、継続的に仕事ができるようになることだと思います。当社の社員は、しっかり働き会社に貢献しているので、それは社会に貢献していることであり、堂々と胸を張って生きていけば良いと思います。仕事の内容においても、当社は、良好な建設ストックを後世に残していけるような仕事にしっかりと取り組んでいくべきです。お客様に喜んでもらうと同時に、広く社会にとっても

良いことも考えていかないといけません。今が儲かれば良いという考えでは、決して長くは続きません。歴史や多くの事例から明白なことです。いろいろな問題点が、日本にも当社にもあると思いますが、批判的な態度をとったり、他に問題点を押しつけるということではなく、自分の行動を常に省みて、野党的立場でなく、自分の人生においては、少なくとも与党であり自分で決定できるはずですから、能動的で前向きな態度を取り続けて欲しいと思います。自分で決定することは、以前のコラムでもあつ

たと思いますが、大きな岐路を言っているのではなく、日々の小さな習慣的な決断が大切です。大きな岐路や決断と言えるようなことは、日々の小さな決断の積み重ねで、最後は自分で決めたかもしれませんが、結果としてなるべくしてなった事が多いのではないのでしょうか。

施工事例紹介

- 施工場所： 愛知県東郷町 U様邸
- 工事名： 太陽光発電システム工事



設置前



設置後

■担当：エコエネルギー課 鞆飼 博之

屋根が ALC 陸屋根であった事もあり、架台メーカーのノウハウのつまった専用架台を採用させていただきました。

実際施工した現場に足を運んでいただき、「これならいい！ぜひお願いします」とのうれしいお言葉でした。

築 37 年ということもあり、防水工事も同時施工させていただきました。施工後は、毎月 15,000 円～ 20,000 円程度だった電気代がゼロになったのはもとより、太陽光パネルを設置したことで 2 階の屋根が涼しくなった！と大変喜ばれていたことが、脳裏に焼き付いています。



ちょっと一言

「金沢の秋の味覚」

北陸営業所
蔵岡 ゆかり



皆様、お疲れ様です。北陸営業所の蔵岡です。

今年は、暑い夏でしたがいかがお過ごしでしたか？

私は、夏が苦手です・・・が！！今年初めてのフェスに参加してきました。少しは夏が好きになれるかなと思いましたが・・・やはり夏は苦手です・・・

でもこれからは、大好きな季節『秋』の始まりでワクワクしております。

北陸は、とても恵まれた環境で、海の幸・山の幸が本当に豊富です。9月に入ってから、『底引き網漁』が解禁になり、甘エビ・ハタハタ・メギスなどが近江町市場や、スーパーなどに並ぶようになりました。甘エビの刺身はもちろん、ハタハタの煮つけは、お酒にもご飯にも最高です！

そして、11月上旬からは、ズワイガニの季節です。なかでも、ズワイガニの雌『香箱(コウバコ)ガニ』は特に美味しいです！

大きな雄のズワイとは違って、小ぶりな雌の香箱の方は卵を食べます。茶色の外子(そとこ)はつぶつぶの卵、ミソノ部分であるオレンジ色の内子(うちこ)があります。

小さいけれど、味は濃厚で旨味もたっぷりです。あー、食べたくなってきました(笑)

お値段もお安く気軽に買えるのでご心配なく。

ですが、雌の保護の為に禁漁期間が長いので、11月頭から、年末頃までの短い期間だけしか食べる事ができません。

新幹線が開通してから、観光客の方が増えたせいもあり、解禁日当日は飲食店が大量のカニを買い占めてしまうこともあり、お値段も高く、買えないこともあります。カニ解禁日は県内ニュースのトップです(笑)

北陸は遠いと思われがちですが、関東からは新幹線で、名古屋・関西からは電車一本です。

ちょっと足を延ばして、この秋、北陸に遊びに来てみてはいかがでしょうか？

美味しいお店・お土産沢山知ってますので、ご連絡いただければいつでも教えます(笑)

入社社員紹介

★北野 貴 ハウスクリーニング課 35 歳

趣味:麻雀、スロット、読書

「先輩方に早く追いつけるよう頑張ります。」

★古屋 潤 設備課 東京営業所 44 歳

趣味:キャンプ、ゴルフ、テニス、バドミントン

「しばらくはご迷惑おかけすることも多いかとは思いますが、一日でも早く皆様のお役に立てるよう、努力してまいります。よろしく申し上げます。」

★森田 洋平 防水課 東京営業所 43 歳

趣味:小旅行

「信頼して仕事を任せてもらえるように努力したいと思っていますのでよろしく申し上げます。」